



金 鷄

令和 6 年 1 2 月 2 4 日
金沢小学校
(文責 三澤)

8 3 日 成長の 2 学期でした

2 学期始業式の校長講話では、目指す学校像「子ども・教師・家庭・地域 みんながつながる あたたかい学校」と、願う子どもの姿の 1 つ「相手を思い、自他を大切に
する子ども ~ぽかぽかを広げよう~」に向かって、児童も職員も取り組んで行く
ことを願って、腰塚勇人（こしづか はやと）さんとおっしゃる方の「命の喜ぶ生き
方 5 つの誓い」という言葉を紹介しました。そして、「ぽかぽかを広げるために、
ぽかぽかの温かな言葉や、友だちを見る温かなまなざしを大切に」「自分も周りの人
も大切に」との願いを伝えました。

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
「目」は、人のよいところを見るために使おう
「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
「手足」は、人を助けるために使おう
「心」は、人の痛みが分かるために使おう



・ぽかぽかの
温かなことば
温かいまなざし
・自分も周りの人も大切に
(心 命 健康 いろいろ)

そんな願いを伝えてスタートした 2 学期も、今日で終了します。様々な体験を通し
て、自分の良さや友だちの良さ、自分達で計画して物事を進め実現させた時の充実感、
温かな人との関わりなど、様々なことを学んだ子ども達です。体も心も大きく成長し
たように思います。

終業式では、代表学年の 3 年生と 6 年生が、2 学期の学習の成果を発表しましたが、
その中にも、成長した姿を感じることができました。

これも偏に、お子さんの様子を温かく見守り、学校を支えてくださった保護者の皆
様のお力があってこそのことです。心より感謝申し上げます。

3 年生は、諏訪巡りについて発表しまし
た。自分達でシナリオを考え、一人一人が発
表の言葉を言えるように分担をしました。
諏訪巡りで学習したことをクイズにし
たり、万治の石仏の小道具をつくったりと自
分達でどんどんと活動を進めていました。

何度も友だち同士で聞きあって練習した
発表は、原稿を読むのではなく、暗記をし
て、聞く人の方にしっかりと顔を向けた立
派なものになりました。「聞く人に伝え
たい」という気持ちがこもっていて、諏訪巡りで楽しくたくさん
のことを学んできたこ
とが伝わってきました。



6年生は、修学旅行と、土偶「仮面の女神」づくりについて発表しました。

発表することを一人ずつ考え、それに合った画像を選んで編集し、発表資料のデータをつくることも、自分達で行いました。また、発表の時のパソコン操作も自分達で担当し、内容にぴったりと合ったタイミングで画面の切り替えをしている姿に、日頃のタブレットを使った学習の成果も感じました。



発表は、ほとんどの子ども達が原稿を持たず、話すスピードや声の大きさ、話題と話題との間などによく配慮がされていて、とても聞きやすく、各見学場所の学習ポイントや、女神づくりで気をつけたことなどがよく伝わってきました。

3年生も6年生も、学習の積み重ねや、行事の中で身につけた力を十分に発揮した発表になりました。

また、校長講話では、83日間の2学期は、夏、秋、冬の3つの季節をまたぐ長い学期だったので、教科の学習はもとより、多くの体験ができたこと、その中で、自分でチームの中の役割を見つけて動けるようになったり、自分で考えたり、友だちと協力したりすることができるようになり、成長を感じたことなどに触れました。

また、「温かい学校」づくりや、「ぽかぽかを広げる」ことに、6年生の活躍がとても関わっていたことにも触れました。開校151年目の今年、児童会では新たな一歩をどう踏み出すかととても考えたと思いますが、児童会まつりや各委員会の催しで、今までにない新しい活動を考えだしてくれました。そのどれもが、仲良し班を中心としたもので全校の皆が仲良くなれる、つながれる、そんな活動だったことを紹介し、学校の柱として活躍する6年生に感謝を伝えました。

スケート学習はじめの会



終業式に続いて、スケート学習はじめの会を行いました。各学年代表のめあて発表のあと、金沢体育協会の小池会長、青木スケート部長、林PTA会長のお三方からのメッセージをお聞きし、スケート学習の注意点を確認しました。これから始まるスケートシーズンへの期待と、めあてを一人一人が持てたことと思います。感謝して滑りたいと思います。